

集落営農の組織化・運営支援

ねらい

生産者の高齢化，米価の下落，生産コストの増大等により，耕作放棄地が増大し農業生産や集落活動の低下が懸念されています。農業・農村の持続的発展のため，地域の特徴や状況にあった集落営農等担い手育成を進めるとともに，既存組織の経営安定及び発展を目指します。

活動地域・対象

地域：県内全域

対象：集落リーダー，集落営農組織代表者，普及指導員，市町村，JA等

普及活動の目標

- 1 集落営農組織の設立
- 2 集落営農組織経営改善

目標に向けた活動概要

- 1 関係者との打合せ会，個別指導等で既存組織の課題解決，経営改善を支援します。
- 2 アドバイザーによる研修会，現地指導，経営・税務相談会を実施するとともに，情報共有，課題解決，経営改善を図ります。
- 3 集落営農等組織育成に役立つため既存集落営農組織の実態取りまとめを実施します。



関係者による打合せ会



アドバイザー現地指導



経営相談会

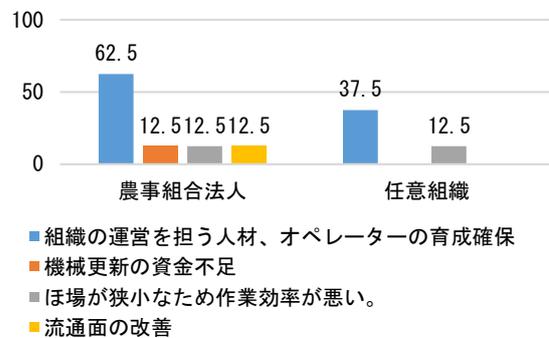


税務相談

普及活動の成果

- 1 集落営農組織化に向けた熟度向上組織数 1 組織
- 2 関係者との打合せ会（経営戦略会議）で既存組織の課題解決，経営改善を支援。
- 3 既存集落営農組織（16組織）の実態を取りまとめ
 - (1) 集落営農の構成員数の状況
構成員数は，農事組合法人平均49.5人（最大169人，最小8人），任意組織平均16.9人（最大30人，最小4人）であった。
 - (2) 各組織の構成員の年代別割合
 - ・農事組合法人（平均）では，70歳以上が約7割を占めた。70歳以上割合が9割を超える組織が3組織みられた。
 - ・任意組織（平均）では，70歳以上が5割を占めた。70歳以上が100%の組織がみられた。農事組合法人，任意組織とも組織によって高齢化が顕著な場合がみられた。
 - (3) 問題点，課題
 - ・組織活動を継続するための人材（役員，オペレーター）がいない。
 - ・機械更新の積み立てができていない等問題があげられる。

(%) 問題点、課題別集落営農数割合（複数回答）



用語説明

集落営農：集落等一定の地域を基本とし，集落内の合意に基づき行われる営農

今後の発展方向

- 1 経営戦略会議，研修会，個別指導等で既存組織の課題解決，経営改善を支援します。
- 2 市町村等の関係機関と連携し，地域の特徴や状況にあった集落営農等担い手育成を進めます。

関係者からの声

ほ場整備予定地で，地域の担い手となるよう機械作業の受け皿組織として法人化を検討したい。集落営農も目標としたい。（生産者）

高度技術支援課 連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922